



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

第28回 人文機構シンポジウム

妖怪空間

参加無料

要事前申込

定員600名

— でそうな場所 —



©水木プロダクション 禁複製

平成28年6月11日(土) 13:30~16:30(開場13:00)

会場 有楽町朝日ホール 有楽町マリオン11階

アクセス ◇JR(山手線・京浜東北線)有楽町駅 中央口または銀座口
◇東京メトロ(丸ノ内線・銀座線・日比谷線)銀座駅 C4出口
◇東京メトロ(有楽町線)有楽町駅 D7出口
いずれも徒歩1~2分
ホール入り口:有楽町マリオン・映画館チケット売場横のエレベーターで
11階までお越し下さい。

主催/人間文化研究機構 後援/文部科学省

開催趣旨

妖怪が出没するのは里山や奥山だけではなく。

2015年に他界した水木しげる氏は、妖怪のすみかを都市空間にも広げる視点を開きました。

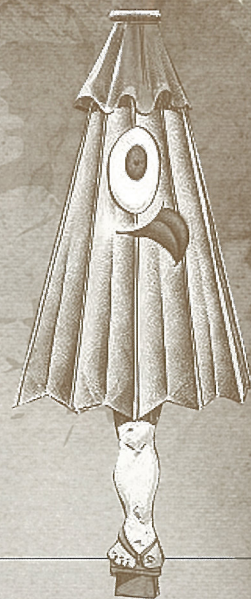
身近な生活の場に姿を現わす妖怪たちは、いったいどこからやってくるのでしょうか。

このシンポジウムでは、妖怪のすみかや異界への出入り口について、身体・家・街という視点から

検討します。歴史学、文学、民俗学などの成果をもとに史資料や絵画資料から解き明かし、

妖怪という心象が形成された歴史的な背景や意味を浮き彫りにしたいと思います。

また、地方消滅が言われる今、妖怪のこれからについても考えます。



プログラム

13:30 開会

13:35 基調講演「妖怪の魅力はどこにあるのか？」

小松 和彦(国際日本文化研究センター 所長)

14:15 パネルディスカッション 第1部「妖怪の出入り口」

司会:佐藤 洋一郎(人間文化研究機構 理事)

プレゼンテーション1「妖怪たちの宴—つくもがみ付喪神記をめぐって—」

齋藤 真麻理(国文学研究資料館 教授)

プレゼンテーション2「家屋敷と妖怪」

常光 徹(国立歴史民俗博物館 名誉教授)

プレゼンテーション3「妖怪が狙う身体部位」

安井 眞奈美(天理大学 教授)

15:15 休憩

15:30 パネルディスカッション 第2部「妖怪空間—でそうな場所—」

司会:佐藤 洋一郎

パネラー:小松 和彦、齋藤 真麻理、常光 徹、安井 眞奈美

16:30 閉会

申込方法



ホームページの参加申込フォームから:

<http://www.nihu.jp/ja/event/symposium/28>

往復ハガキ:

「6月11日 人文機構シンポジウム 参加希望」と明記し、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をご記入の上、下記事務局までお申し込み下さい。

(料金不足のハガキでお申し込みの場合、受付はできませんのでご注意ください)

人文機構シンポジウム事務局

〒164-0003

東京都中野区東中野4丁目27-37 (株)アドスリー内

TEL:03-5925-2840

E-mail:nihu20160611@adthree.net

※定員に達した時点で締め切ります。

